10月28日 金曜日 27日発行
昭和30年 西暦1955年
発行所 内外タイムス社
東京都中央区銀座3の5 電話 代表 京橋(56)8646番
直通 販売(〃)0437 広告(〃)3995
編集局 港区芝金杉川口町13 電話 代表 三田(45)8136番
振替貯金口座 東京170071番
内外タイムス THE NAIGAI TIMES
第3261号 (昭和24年6月27日 第三種郵便物認可・昭和24年5月27日 国鉄特別扱承認 第232号)
(中華郵政台字第6?7号執照登記為第2類新聞紙類・内政内鎖証報備内台警字第0136号)

天気予報 今晩 北の風晴時々曇り 明日 北の風…

あすの暦 10月28日・金 9月13日
日出 5.58 日入 4.51 月出 2.44 月入 2.23 満潮 2.40 3.00 干潮 9.10 9.40

健全財政を堅持
一万田蔵相車中談
来年度予算 金融正常化を徹底

【名古屋発】一万田蔵相は[illegible]関西財界人と懇談のため[illegible]東京発西下したが、車中で記者団と会見、三十一年度予算、財政金融問題について次のように語った。

一、予算問題 三十一年度予算編成の基本方針は保守合同の成立を待って決まることになろう。しかし一般会計の歳出規模を歳入の限[illegible]を打出すつもりだ。住宅対策をはじめ重点的に組むつもりだ。[illegible]といったような、はっきりした性格のものに編成したい。むろん特色のあるもの[illegible]

一、公債発行問題 水田自由党政調会長はじめ党内にも公債発行論者がいるが、党としてまとまった意見だとは思わない。経済規模の拡大が必要というが、物価が安定し、貿易尻も増大し、輸出は二十[illegible]ョンは行うべきでないし、慎重を期すべきだ。

一、国際経済の動向 国際的な経済の動きは景気が天井をついた形でことにヨーロッパはインフレ引締め、通貨[illegible]いでいるので、[illegible]加してくるだろう[illegible]日本経済を育成[illegible]を通じ、健全化[illegible]ならない。

[illegible]見『三十一年度予算は[illegible]いない』と当面の財政[illegible]すでに経済六ヵ年計画の三十一年度達成見込み十九億㌦を上[illegible]いる。こうした事実は経済[illegible]を裏書きしているものだ。

一、防衛関係 三十一年度予算に対する見通しをつけ、米側と交渉を始めたい。私は防衛費など繰越し分も相当に多い[illegible]密に査定して行く。

一、中小企業対策 通産省と具体的に十分相談するがマーケットを与えるため中小企業を組織化して行く考えである。


一万田蔵相

企画庁長官代理に石橋通産相

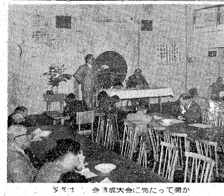
政府はジュネーヴのガット総会に出席のため出張した高碕企画庁長官の臨時代理に石橋通産相をあてることにし、二十七日発令した。

「新党準備会」発足す
会長三木、大野氏
来月十日に結成目標

新党準備会の結成大会は二十七日午後一時すぎから東京永田町のグランド・ホテルで民自両党の衆参両院議員が参加して開かれ、世話人七十名を選任、準備会会長に三木武吉、大野伴睦両氏を決定して発足、十一月十日を目途に保守新党の結成を急ぐことになった。

結成大会はまず仮議長に犬養健氏を推し、ついで楢橋渡(民)山口喜久一郎(自)両氏をそれぞれ議長に選び岸民主、石井自由両党幹事長から保守合同を達成して政局を安定したい旨の挨拶が行われた。ついで組織、政策両委員会の代表から作業経過の報告があり、これを準備会に引継ぐこととして議事に入り、準備会の規約を決定、世話人に民自両党三十五名ずつ七十名を選任、三木武吉、大野伴睦両氏が準備会会長に決定した。さらに党規党則、政策、組織、遊説、大会運営、資格審査、宣伝広報、党名の八委員会の委員を決定、声明書を発表して閉会のはこびとなる。

これにより保守合同問題は画期的に進展したが、総裁問題をはじめ日ソ交渉、日比賠償など政策問題がすべて準備会に持込まれたのでさらに多くの曲折はまぬがれないようである。準備会としては十一月十日新党結成を目途に推進をはかり、十一月早々準備会総会を開くことを予定し、準備会結成大会ののち直ちに初の世話人会を開き常任世話人を選出、引続き二十八日に第一回常任世話人会を開いて準備会の運営方針を協議する。


写真は[illegible]会結成大会に先だって開かれた民自両党政策・組織委員会総会

声明書

民自両党あげて参加のもとに本日ここに新党結成準備会が発足した。われらは旧套を脱して保守勢力の大同団結の実をあげ、さらに広く同憂共感の士を糾合し、相携えて国民的基盤に立つ清新にして強力な新党を結成し、以てほうはいたる世論にこたえ、また決意を新たにして時局匡救の重責を果さんとするものである。右声明す。

民主党側世話人

新党結成準備会の世話人(両党合せて七十名)のうち民主党側の氏名は二十六日夜次のように内定した。(○印は常任世話人)
○岸信介、○三木武吉、○清瀬一郎、○芦田均、○河野一郎、○大麻唯男、○南条徳男、三浦一男、中村梅吉、宮沢胤勇、千葉三郎、井出一太郎、福田赳夫、早川崇、須磨弥吉郎、石田博英、有田喜一、楢橋渡、首藤新八、椎熊三郎、高橋禎一、遠藤三郎、大村清一、松浦周太郎、広川弘禅、田中彰治、池田正之輔、赤城宗徳、桜内義雄、中曽根康弘、今松治郎、松岡松平、上林山栄吉、三好英之(参院)堀木鎌三(参院)
なお広川弘禅氏が辞退する場合は山本粂吉氏。

自由党側世話人

自由党は二十七日午前十時半から渋谷の総裁公邸で首脳会談を開き、新党準備会世話人、常任世話人、幹事(合計三十五名)を次の通り決め、引続き開かれた総務会で正式に決定した。
大野伴睦、石井光次郎、水田三喜男、松野鶴平、池田勇人、犬養健、船田中(以上七名常任)山口喜久一郎、保利茂、村上勇(幹事)馬場元治、田中伊三次、小沢佐重喜、小坂善太郎、塚田十一郎(幹事)倉石忠雄(幹事)江崎真澄、中山マサ、鈴木善幸、周東英雄、神田博、青木正、篠田弘作、相川勝六、灘尾弘吉(以上二十五名衆院)大屋晋三、大野木秀次郎、黒川武雄、寺尾豊、中山寿彦、小林英三、中川以良、青木一男、小野義夫、郡祐一(以上十名参院)

自衛隊二万増強
防衛庁 明年度に要求

防衛庁は二十七日、さきに決定した三十一年度防衛庁概算要求書を大蔵省に提出するとともに増原次長、門叶官房長、北島経理局長から同日の民主党政調会にその内容と明年度防衛力増強計画の全容を説明した。この防衛力増強計画は今年度と同様に陸、海、空三軍均衡の建前で全体的に増強をはかっており、❶防衛庁費を今年度(八百六十八億円)より約百六十五億円増額して一千三十三億二千八百万円とする。このほかに国庫債務負担行為(予算外契約)として百二十七億七千四百万円、継続費(艦船建造費)二十八億円が計上されている。❷自衛隊の増員は陸上一万人、海上三千五百五十人、航空は四千七百十九人でその他統幕会議および非自衛官(平服職員)などをふくめて合計二万九百三十七人とする。❸陸上は混成団一、独立特科大隊三およびその他の部隊を新設、海上艦艇は三十三隻三千三百二十八トン、航空は消耗分の更新をふくめて二百三十機を増加、航空団一、第二操縦学校分校一、航空補給処一、訓練航空警戒隊一などの部隊を新設するなどである。

社会春秋
塵もつもれば
小松清

次のオリンピック大会に参加するわが選手の派遣費の源泉について昨今さかんに論議がなされている。議論に火がついたのは競輪、競馬、競艇からあがる利益金、いわばバクチの"テラ銭"でまかなっては如何という提案からである。

この案の是非については投書欄から社説欄、匿名論評にいたるまで、賛否の論が火花をちらしているところをみると、世の識者、言論人、ジャーナリスト、一般国民の多大の関心をひきつけているとみてしかるべきである。提案にたいする賛否はとも角、このように広い範囲にわたってセンセーショナルな世論をまきおこしたことは、たしかに提案者の手柄というべきであろう。なぜなら、もうぼつぼつ、この問題が真剣に論じられねばならぬ時期に入ってきていたからである。

賛成者の意見をよんでみると概して、目的のために手段を選ばぬ、といった点で一致している。テラ銭であろうがなかろうが、オリンピック選手派遣という大目的遂行のために大いに役立つなら結構でないか。だいたいそのテラ銭で学校や公民館が建っているところがあるではないか、と啖呵を切っている。そういわれてみると、成程議論としては筋が通っている。矛盾は矛盾、現実は現実といえるだろう。

しかし、こうしたいい分に耳を傾けていると、どうも自己宣伝乃至自己保存の戦術のようなものの響きがするのである。即ち戦後のヤミ時代の混乱期の産物であるところの競輪、競馬、競艇などという大規模な賭博行為が、今日、世間や人心が落着きをとりもどしてくるにつれ、社会道徳の上でも風教の上でもはなはだ面白くないというわけで、次第に批判のマトになってきつつある。ひとつここらで上手に身をかわす韜晦(とうかい)の術を考えるべき時だ、といった胸算用からこの際オリンピック選手派遣という国民各層から強く支持される国家的大事業をとりあげ、これをわれわれの手でと、胸を大きくポンとたたいてみせたのでなかろうか。実現しなくとも、無料で大宣伝になり、名誉回復にもなる。中々のハッタリであり芸当ではないか。

私はオリンピックへの大量参加に大賛成である。純粋なスポーツ愛は別としても、正しい意味での民族意識を高揚する機会ともなるからである。ことに小国民に日本人としての誇りと希望をもたせるためには絶好のチャンスだと思っている。少くとも今日の日本人の生活にみられる多くの汚れた醜悪な面、恥かしい面は顔出しの出来ぬ神聖なフェア・プレーの民族的表現であるからだ。この神聖な民族的表現を賭博のテラ銭でまかなうが如きことは何としても考えられない。自尊心が許さない。

政府は、今のうちから出来るだけ補助金の予算をとって大いに援助すべきである。これはいうをまたない政府の義務である。しかし、オリンピック行は国民的大事業として国民の一人一人が、たとえ一円でも五円でも、浄い心をこめて積みたてた天下晴れての大浄財を土台にして是非とも実現して欲しい、と私は希望する。かくてこそ、オリンピック派遣選手は国民の一人一人につながる真のスポーツ国民代表としての意識を持って活躍することができよう。塵もつもれば山となる。九千万に近い日本人口は決して馬鹿にならないのである。五輪週間をやってもいいではないか。バクチのテラ銭で代表を送ることはやめよう。

議題 軍縮など三つ
四国外相会議きょう開く

【ジュネーヴ二十七日発=共同】巨頭会談から丁度三ヵ月目、米、英、仏、ソ四国外相はいよいよきょう二十七日午後三時(日本時間二十七日午後十一時)からジュネーヴのパレ・デ・ナシオンで約三週間にわたり全世界注目の会談を開始する。

ソ連のモロトフ外相が午後零時四十分東ベルリンからジュネーヴに到着したのを皮切りにダレス米国務長官、マクミラン英外相、ピネ仏外相と相ついで到着した。今回の外相会議は巨頭会談の終りに発表された四国外相宛の指令書にもとづき❶欧州安全保障とドイツ統一問題❷軍縮❸東西間の交流の促進の三議題を検討するが、ジュネーヴ精神を基調としてこれら難問をどの程度具体化するかに大きな期待がよせられている。


ジュネーヴに到着したダレス長官(UPサン=共同)

あす信任投票
仏政府 社党の非難に応酬

【パリ二十七日発AP=共同】フォール首相は閣議の決定に基き社会党提出の政府非難に関する動議を阻止するため信任投票を要求した。信任投票は二十八日午前十時(日本時間同日午後六時)に行われる。

【パリ二十六日発UP=共同】仏国民議会は二十六日、北ア作戦のための軍事費支出問題にかんする討議を開始したが、社会党の幹部クリスチャン・ピノー氏は同日政府の北ア政策を痛烈に非難する演説を行ったのちに、フォール内閣に対する不信任動議を提出した。

英下院否決
消費税引上げ反対の決議案

【ロンドン二十六日発UP=共同】英労働党は二十六日の下院で、バトラー蔵相の補正予算にかんする演説が行われたあと、直ちに消費税の二〇%引上げに反対する決議案を提出した。しかしこの決議案は反対三百十四票対賛成二百二十七票で否決された。

不評判な補正予算

【ロンドン二十六日発ロイター=共同】バトラー英蔵相が二十六日議会に提出した補正予算は、全面的な不評を買っている。業界では自動車、ラジオ、自転車など各産業が消費税引上げによって売上げが減るのではないかと恐れており、機械産業協会は賃上げ攻勢を予測している。また家庭の主婦にも衝撃を与えると思われている。

国府もゴ政府承認

【台北二十六日発中央社=共同】国府外務省は二十六日ゴ・ディンディエム大統領の南ヴェトナム政府を正式に承認すると発表。

粋人酔筆
税関第一世

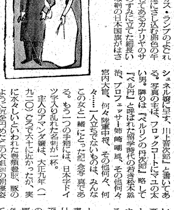
故人ではあるが、中村吉蔵の喜劇に『新帰朝者』というのがあった。ベルリンに行ったことのある親と子が、実はどちらもベルリンの『税関』をくぐっている話を、両方からバレてしまって、親子がとんだ兄弟になってしまったという実話であった。

『税関』といったって、もちろん女の税関で、ベルリンへ行った日本人は、かならず一度は、ごやっかいになって通るということから『税関』の名が出来たが、これが第一世から第八世まであった。十九世紀の終りから二十世紀へかけてというと大げさだが、全くそのころ、ベルリンへ行った日本の高位高官方は、ほとんどごやっかいになっているといってよい。その証拠は、第一世が箱一杯に持っていた日本人の写真で判る。私はこの写真をそっくり売ってくれないかと交渉したが、さすがはドイツ女にも仁義はあり、承知しなかった。その代りには、

『わたしゃ日本にこれを持っていったら、どこでもおまんまたべられるよ』

と豪語していた。

濃い海老茶色の厚ぼったい窓掛け、縁飾りの房がすれて、白い糸のしんがはみ出ている。天井から下がったガス・ランプのよごれたホヤ、その五階の部屋にさし込む卵色の午後の日光、窓際につるしてあるカナリヤのさびた金色のカゴ。部屋のすみに立てた細長い大姿見。その横に小さな絹の日本国旗がはさんである。



壁に小さな金縁の額がかけてあって『ここにアマンダ・シュネル嬢、本社忠誠の主旨に賛せられ…特に正社員に列す、明治三十八年十一月何日、大日本帝国赤十字社総裁…親王』すみの鏡の前に、黄色くぼけた写真が立ててある。裏に『日本人の救世母、アマンダ・シュネル嬢に呈す、川上音次郎』と書いてある。写真の主は、フロックコートにマユの太い男。隣りは『ベルリンの丹次郎』略して『ベル丹』と呼ばれた留学時代の若き松本烝治、プロフェッサー姉崎嘲風、その他何々宮内大官、何々陸軍中将、その他何々、何々……一人立ちでないものは、みんなこの女と一緒にとった記念写真である。もう一つの手箱には、日本字ドイツ字入り乱れた名刺が一杯。

主人のアマンダ嬢は、大正九年(一九二〇)ごろで六十に近かったが、実に水々しいといわれた豊頬豊肢、豚のように尻を円めたこの大娼婦の朝寝姿は、まだご記憶の方もあるだろう。ベルリンでただ一人日本人を朝風呂に入れて、背中を流してくれた女だ。

この女の全盛の十九世紀末といえば『淫らな楽しい十九世紀』の面影を、まだそのまま伝えていたころ、欧州風俗も今とはまるで違い、いわばベルリンの明治時代である。男は高いカラーに髭をピンとはね、女はコルセットで胴を締め、顔にヴェールをかけ、長いスカートを左手につまんで歩いていたころである。

明治童話文学の泰斗『金色夜叉』のモデルといわれた巌谷小波の『伯林土産恋の絵端書』によると、一九〇〇年ごろのベルリンで日本人を相手にした女は、こういうミス税関でなければ、女工、百貨店の売子、郵便局員の娘という程度の女で、こちらはちがい陸軍軍人や、お金に乏しい文部省留学生である。外国人を相手にする日本の女も、今日となっては顔触れもかわって、羽田に次ぐ『税関』も出来たろうが、朝風呂に入れて背中を流す、きぬぎぬの風流はありやなしや。

丸木砂土

ないがい川柳
吉田林司選



台風を待ってましたと視察団　江戸川　真佐彦
老優へ母憧れた過去があり　市川　一歩
眼の愛護だから見てくるストリップ　荒川　凡句羅
宿引きがすぎて心中をくわえ込み　港　三上とんぼ
五燭の燈女の稼ぎ知れたもの　足立　矢吹日進
おしゃべりの時間ができた洗濯機　港　瀬谷蒼美
入選の自分へモデル立ち尽し　北　稽三平

内外抄

◇四国外相会議幕あく。ア大統領が病床から『ジュネーヴ精神』に呼びかけた。だが、これも病弱。

◇新党準備会いよいよきょう発足、世話人七十名、船頭を多くして船を頂上に突きあげる工夫。

◇南ヴェトナム、共和国を宣言してゴ首相を初代大統領に。『人形の国』から出て行く雄々しい姿。

◇富士でオネスト・ジョンの公開試射。『反対が通るかどうか、こちらも試射してみよう』とね。

◇家族計画会議で避妊ののみ薬が紹介された。『大丈夫かね、間違ったら尻をどこへもって行くだか』

市況
気重い商状

大証券筋が引続き消極的態度を改めないので市況は活気に乏しくさらに十月決算五十五社の配当落商内もあって全般は閑散保合のうちにも幾分気重い商状。特定株は日清紡が六円安と配当落を落したのと三越がマバラ買に三円方小確りのほかはいずれも底弱なコゲ付場面。雑株は両三日の来整理売物も細る一方部分的には小口買もみられて三洋電機をはじめ二三小高いものもみられたが、大勢は見送り人気に傾いているため、地合は冴えず全般は気乗薄の保合商状を脱しきれなかった。
▽高い株=三洋電六円、日本ビ、東横デ、東北製鉄四円、

◇おことわり『欧州かけある記』と『地獄耳』は本日休みます。

東京株式仲値 (□新株 △配当落)(27日前場終値)

				倉レ	124	小西六	107
				電化成	386	カボン	40
				山陽パ	138	三井物	137
特定銘柄		信越化	90	日本パ	113	第一物	133
東海上	261	東高圧	147	国策パ	137	白木屋	—
興船	62	昭電工	119	東北パ	118	高島屋	100
新三菱	△76	日本曹	104	大東紡	100	日活	73
日清紡	265	旭電化	93	商船	47	松竹	217
味の素	296	三菱造	95	三井船	50	東宝	—
三越	△300	三井造	126	飯野海	60	大映	168
三菱地	△499	三菱重	65	西武	—	日本粉	133
平和不	221	石川重	92	藤田興	213	日清粉	128
		帝工	141	東京ガ	81	日本ビ	184
三井金	118	東洋ベ	125	東電	610	朝日ビ	195
三菱金	115	日立造	57	日銀	—	キリン	213
日鉱	107	浦賀	63	東銀	56	宝酒造	129
住友金	114	日平	18	三井銀	—	台糖	287
三菱鉱	56	古河電	72	富士銀	88	明糖	135
古河鉱	3	日立製	81	日証金	71	甜菜糖	124
同和鉱	139	東芝	68	安田火	105	野田	210
住友鉱	64	三菱電	86	大正海	90	森永	185
三井山	66	小松	63	住友海	84	明菓	185
北海炭	68	日本光	146	千代田	75	日水産	97
東邦亜	77	キヤノ	165	鋼管	88	昭和産	114
帝石	75	東京光	40	日製鋼	74	東洋醸	91
日石	115	東洋紡	168	八幡鉄	64	合同酒	146
昭和石	135	鐘紡	134	富士鉄	57	三楽	128
東燃	136	富士紡	123	神戸鋼	55	大阪糖	180
三菱石	145	大日紡	87	日特鋼	112	王子紙	252
大協石	143	日東紡	63	日軽金	182	十条紙	282
日東化	97	片倉	33	日金工	73	本州紙	97
日産化	83	東邦レ	117	日セメ	166	三菱紙	95
三菱化	119	帝麻	37	磐城セ	286	北越紙	67
三井化	133	中繊	47	小野田	94	三井不	802
協和醗	131	帝人	154	横浜ゴ	155	三井倉	92
東合成	142	東洋レ	200	旭硝子	172	渋沢倉	—
三共薬	173	三菱レ	130	富士写	157	東洋埠	215

青春無宿 (170)
大林清 作　下高原健二 画

黒い死(五)

トミ子が三つのグラスにウィスキーを注ぎ終るまで、大反野は眼を閉じて何か考えこんでいた。

兆子もさすがにもうウィスキーへは手をつけなかった。

『トミ子、ちょっとむこうへ行っていなさい』

大反野が成算でも立ったように、いくらか気力を盛りかえした調子で命じると、トミ子は不服そうに頬をふくらませたが、それでも言葉をかえさずに出て行った。

『殺されただけで金を奪られていなければまだよろしいが、その点はわかりませんか』

兆子と次郎を等分に見ながらきいた。

兆子は首をふった。

『殺されたということだけしかわかっていませんの』

『なんと云ったか、いつもヴァルマンといっしょにいた連中、あれらを捕えてみればわかりますな』

『ソロジェムやハロヌークがどこにいるかごぞんじですの?』

『知りません、しかし捕える方法はあります』

大反野は確信ありげに云った。

『でも、あの連中がもしお金を奪うのを目的で、ヴァルマンを殺したとしたら、もう日本にはいないかも知れませんわ』

『殺されたのは今夜でしょう』

『死体になって発見されたのが今夜なんです』

『恐らくまだ高飛びはしていませんよ』

一時は色を失った大反野の唇に、あの貪婪な赤さがもどって来た。

『わたしはあの連中が飛行機の密輸をして、まだ金が払えずに、その飛行機が無国籍のまま放ってあるのを知っています。彼らが高飛びにそれを使うとしたら、夜が明けてからのことです』



『それはどこに置いてあるんですの?』

兆子にとっても、そのことは初耳らしかった。

『うちの教団に買わないかと云って、一度テスト飛行をしたまま、深川の飛行場にある筈です。航続距離の少い軽飛行機だが、二度か三度給油すれば韓国まで飛べると云っていたから、そのコースで日本を脱出することが考えられます』

大反野はマントルピースの上の時計をふりむいてから、ウィスキーの瓶をとりあげた。

『さァやって下さい、夜の明けるのを待って、深川の飛行場へ行ってみましょう。あの連中が、折角自由に使える飛行機を捨てて行く筈はない、飛行場で網を張っていれば、必ず捕まりますよ。これはわたしだけの問題じゃありません、あなた方も是非協力して下さい』

大反野が次郎を同類に捲きこもうとしているのは、自分一人でソロジェムやハロヌークを発見しても、どうすることも出来ないとわかっているからにちがいない。

兆子は次郎と顔を見合せた。どうするのかというような、もの問いたげな眼だった。

大反野はその気配をいちはやく察すると、ふたたびトミ子を呼び入れて、精一杯の歓待をはじめた。もし協力してくれるのなら、ヴァルマンの趣意書に署名したための迷惑は決してかけないと断言した。

夏の夜の明けるのははやかった。

次郎と兆子は二時間もそこにそうしていてから、大反野が呼んだハイヤーへ乗った。

まだ暁闇のただよう街筋へ出たハイヤーは、まっしぐらに深川をさして走りはじめた。

ニュース・ストーリー

映画「生きる」の変型版 老百姓と女給の無理心中事件



AKIO K

死を予告された男　人生の最後に求めたものは?

六十歳を越えた老百姓が、特飲女給を道連れに、無理心中を図った。お半長右衛門を地でゆく『老いらくの恋』の清算? ともみられる事件だった。しかし遺書がない。原因も動機も判らない。風変りな老人が人生最後の花を飾って情熱を燃やした。ただそれだけのことであるかもしれない。だが、世の中には、何でもない事件の裏に、うかがい知れない生と死の深淵がひそんでいるものである。黒沢明監督の映画"生きる"を思い出して貰えばよい。この事件の主人公もまた官能の世界に死をみつめて"生きる"空しさにあがいたのだった。

投げたコップに農薬の悪臭

時、十月二十日午前十一時半頃所、品川特飲街『L』の一室―まだ覚め切らない、よどんだような特飲街特有の空気を品川沖の汽笛が、ボッ、ボッと重苦しくゆする。

"キャァー"女の、尾を引く叫びがあがった。それにおっかぶせて、しわがれた男の、悶絶するうなり声。『L』の一室で、ただならない騒ぎが起ったようだ。

泊り客や店の者が飛び込んでみると、店の女給中島トキエさん(二三)が寝間着姿のまま逃げまどっている。傍らに、老人が骨張った腕をふるわせて倒れていた。もう断末魔に近い。その手に握りしめた茶碗のなかから、飲み残りの薬が異様な臭気を漂わせていた。

状況は、明らかに無理心中だった。仕掛けたのは、老人である。『老いらくの恋』の結末…と、現代風に解釈するにしては、余りに凄惨であり、詩情がない。

はるばる三日に一度の通い

老人は、埼玉県南埼玉郡越ケ谷町大字七佐衛門二五六農業鋪野(しきの)佐一さん(六二)だった。一年半ほど前からトキエさんになじんで、滅多に泊ったことはないが、一週間に二、三回は電車で二時間半の距離をはるばる通ってくる。

老いのわびしさを、遊里の情緒に求めて、人生最後の粋をたのしむ者は少くないし、たとえ孫ほど齢の違う娘相手でも、それは、この世界で珍しいことではない。

しかし、心中を図るからには、何か突きつめた動機。原因、もっと多い例では、からみにからんだ愛情の結び付きがなければならないはずだ。

この事件では、それがない。遺書も発見されなかった。

幸い生命の難をまぬがれたトキエさんの口から事情を聞くと、こうである。

前夜の九時半ごろ、いつものように鋪野さんは彼女を訪れた。珍しく『泊めてくれ』といい、『五百円しか持合せがないのだが―』と前もって断わった。いくらなじみ客でも、五百円ではお話にならない。『だめなのよ、今度いらして』と、トキエさんは上手に帰そうとしたのだが、鋪野さんは聞き入れない。

いま、思い返してみると、そのとき鋪野さんは、心のなかで固く思い決めたものがあったらしい。表情のどこかに、暗い翳りがあった。あるいはその夜、死を図るつもりではなかったのか。

泊りを断われたその翌あさ

トキエさんの拒絶をくって、鋪野さんは、とうとう怒り出した。『おれの気持が判らないのか、今まで、あんなに可愛がってやったのに―』そういい捨てて、老人は渋々と帰っていった。

翌朝、つまり事件の日の朝である―。

『前の晩泊り客のなかった私は、その朝いつもより早く目を覚しました。九時半ごろでしたか"お客様よ"という下からの声と一緒に、鋪野さんがあがってきました。前の晩、あんな口ゲンカをして追い帰すようにしたのだから、ちょっと気まずい思いでしたが、鋪野さんは部屋に入るなり"ゆうべは済まなかった"と何度も繰返して謝りました。"いいのよ、気にしないで"と私も慰めるようにいいますと、鋪野さんは、子供みたいに安心し切って、それから二時間ぐらい、いつもの通り楽しく過しました。そのときは別に変ったところはみえなかったのです』

彼女は、警察の調書のなかで、そう述べている。

ところが、鋪野さんは、彼女が手洗いに立ったすきに、隠し持ってきたホリドール(農薬)を枕もとの茶碗二つに移し込んでいた。

『とても身体にいい薬なんだ。一緒に飲もう』

そういって、彼はさりげなく彼女にすすめ、自分でも一息に飲み干した。だが、その薬の臭気が異様だったし、鋪野さんの態度にも、いいようのない無気味さがあったので、トキエさんは思わず手を振り払った。彼は、鋭い眼付きを一瞬据えるなり、その薬を、彼女の頭から浴せかけたのだった。

若いときから律義な働き者

鋪野さんは、律義なお百姓で通っている。妻かのさん(五七)との間に一男三女をもうけて、一町四反の田畑を作っていた。農協理事をつとめて町では信望があつかった。家庭は裕福で円満だった。

若いときから、働く一方で、女遊びなどついぞしたことがない。酒は少したしなんだが、それも家での晩しゃく程度。いつもニコニコ笑って、年とともに『仏の佐一さん』とよばれるほど柔和な人柄ができ上っていた。

そんな鋪野さんが、ふと軌道を踏みはずした。

一年半ほど前。どういうつもりだったのか越ケ谷町の特飲店にふらりと姿を現わし、そこで生れて初めての浮気遊びをした。そのときの相手がトキエさんだった。

色白の、ポッテリとした顔立ちの、気立てのいい彼女だったが、自分でも年ごろの娘を三人ももつ鋪野さんに、どこをどう好かれたのか見込まれたのか、判らない。

こういう世界に遊びにくる老人とは打って変った淡白さだった。金離れがよいとはいえなかったようだが、それだけは年寄りのミミッチさで仕方がない。とにかく、トキエさんにとっては、日を決めて訪れるなじみ客程度の上客だった。

鋪野さんは、こうして、深みに落ちていった。



死んだ鋪野佐一さん(62)

六十路すぎて知った女の味

今年の四月になって、トキエさんが品川の方へ移ることになった。鋪野さんは、やはり後を追って品川に通い出した。それからは家の者にも、大っぴらになった。

平和だった家庭に、暗い翳が襲った。帰りのおそい鋪野さんを迎えて、夫婦ゲンカの絶え間がなかった。『仏の佐一さん』が、どうして無茶な女遊びなどを始めたのだろう……と、町の人も首をかしげた。みるにみかねて親類一同が忠告しても『おれが働いて、おれが遊ぶのだ。何の文句がある』と、かえって火に油をそそぐような結果で終る。

六十路を越えて知った女の味…空しかった青春を、人生の峠を登り終えたところで、再び取戻そうと、あがいたのであろうか。

いや、彼の心は、彼だけが知っている。そして、彼は、その秘密を抱いて死んでいった。

"死の予知"に慄き苦しむ?

鋪野さんの身体は、蝕まれていたようだ。『胃ガン』という名の恐るべき宿業…それを知った一年半前、鋪野さんは残り少い人生を如何に"生きる"べきか、悩み苦しんだに違いない。それは、死を予告されたものだけが知る、狂わしさであろう。

鋪野さんは、恐らく、自分の歩んできた過去をもう一度振り返ってみたに違いない。土とともに汗みずくで生きた六十年、律義者とよばれ、仏のようだとあがめられながら、その六十年のうちただの一度でも、人間的な潤いを味わったことがあるだろうか。

紅灯の巷に、家を忘れて遊んだのも、迫りくる死の幻影を払いのけようとする虚ろな逃避だったかもしれない。或いは、人生最後の花を求めようとして、老いの情熱を沸き立たせていたのかもしれない。

彼女の災難、危く死の道連れ

どちらにしても、鋪野さんは、病魔の執拗な追ッ手から逃れ去ることはできなかったし、心の空虚は官能だけで満し切れるものではなかった。

死の道連れにトキエさんを選んだのも、それほど深い理由があるわけでない。なじみだったということが、この場合、むしろトキエさんにとって災難だった。

一つの生命が、紅灯の影に散った。それは広い世間のなかで、かくも"生と死"の境に立って、もだえるものがいたかというエピソードにしか過ぎまい。

きょうも、品川沖の汽笛はボッ、ボッと重苦しく、よどんだ空気をゆするのである。

え・小田明男

続 風流交番日記 ⑦

押売り

中村獏

『お巡りさん、押売りが来てどうしても帰りません』

『ホイきた!』

押売りだという訴えを私は二つ返事できいて、訴えて来た近所のおばさんと、押売り撃退に出撃して行った。

ガラリと勢いよく戸を開けてみると、なるほど人相のよくない五十格好の男が、玄関に斜めに腰掛けて小間物屋を開業している。

『君、要らないといったらどうして帰らないんだね?』

『へえ、相すみません…』

『とにかくちょっと交番まで来て貰おう』

『それだけはダンナ…』

彼氏ペコペコと謝って見せたが、その手は食わないぞとばかり交番に連れて来てしまったのである。

大体押売りというのは怪しからん商売である。さし当って必要もないおかしげな物を、無理やり買わせて儲けようという料簡が気に入らない。

『住所はどこだね?』

『へい、深川です』

『木賃宿かい?』

『さようで…』

この押売り、顔に似ず大変に柔順だった。いささかも逆らう気配など見せないし、言葉使いも押売りならにていねいだった。

『本籍は?』

『東京です、戦争で焼け出されてそれっ切りです。伜が生きていれば二十八になる筈ですが、終戦のドサクサに満州で死んだそうです。身寄りもタヨリもありません…へえ』

『満州のどこで死んだんだね?』

『何でも、チチハルとかで…』

『チチハル! 俺も行ったことがあるよ』

『伜さえ生きていれば、こんなみじめなことはしなくてもいいんでしょうが…』

クシュンと、水鼻などすすり上げる情況で、何ともはや甚だしめっぽくなって来るのであった。

『いけない、いけない。家庭の事情はどうあっても、押売りをしていいという法はあるまい。気をつけて貰いたいな!』

『へい、それはもう重々わかっているんでございますが、この年になると適当な働き場所もなく、つい…』

私はしみじみとこの男の姿格好を見る。まことにプアな造作で、そぞろに哀れをもよおして来る。これが私の父親だったら? なんぞと考えると、なんとなくシュンとなってしまう。

『まあ煙草でも吸いなさい』

私がすすめる一本の新生をうやうやしくいただいて、そいつを口に持っていきながら、どうやら涙ぐんでいるらしかった。

『お互いに苦しい生活だ、頑張って正しく生きる努力をしようじゃないか―』

『へえ……』

『どれ、そのゴム紐一本貰おう、貧者の一灯だ……』

まさか私が買うとは思っていなかったらしく、男はキョトンとしていた。私はゴム紐を手にし伸したり縮めたりしていたが、そこへ同僚の海田巡査が帰って来た。

『君、一本買えよ、十円にまけとくぜ!』

強引にゴム紐を押しつけると海田君は、

『君は押売りだ!』と笑った。

すると男はちょっと慌てて、

『押売りはあっしです、ヘエ!』

と、いった。

(え 永田力)



モダン歳人記

奇抜な売春訓

大正八年十月二十八日、浅草日本堤署長江種栄史氏は吉原病院で、娼妓の自由廃業は道徳的に悪だという売春訓の演説を試みた。看護婦田口かず子氏の筆記をみよう。

『人間の重んずべきは道徳だ。娼妓も人間たる以上、道徳を守らねばならぬ。他人はどうなっても自分さえよければと、よくない客に唆かされて自廃をするものもあるが、心得違でけしからぬことだ。人という字は両方からもちつもたれつする意味で、人間は互いに助け合わねばならない。貴女方も困った時に楼主から金を拝借したのだから、こんな稼業は嫌になったといっても、すぐ自廃するようではいけない。法律には自廃という事もあるが、前借何百円という大金を払わずに出て行くのだから、世の中を狭く渡らねばならぬ。堅気になって返すといってもそれは子供の代か孫の代かわかるまい。いくら働いても女の腕一つでは無理だ。貴女方は楼主のお蔭で親兄弟を救って戴いたのだから、五年や六年の辛抱はし遂げねば嘘である』という。雇用契約と貸借関係が別に扱われたから、こんな事もいえたのだろう。

(鮭)

あすの運勢　高島象山

―十月二十八日―

▲一月生―物事苦労を去り気運漸く調う技倆を発揮して努力し無事
▲二月生―初め不満と不平ありて不安あるも辛抱すれば無事に至る
▲三月生―諸事都合よく進展し目的叶い商売繁昌あるなり開業大吉
▲四月生―気運好転して秩序的活動すれば漸次順調なり開業移転吉
▲五月生―穏健なれば無難なり進取は失敗の元貸借は不仲の元なり
▲六月生―勇躍して目的叶い幸福来る積極的に活動せよ開業移転吉
▲七月生―何事も努力効を奏し利達あり社交有利に交渉まとまる也
▲八月生―無理と承知で横車を押し自ら失敗を招き易い控え目よし
▲九月生―周囲に人気湧き他動的信用を高める異動変化身を立てる
▲十月生―堅き意思を以て一志を貫けば苦労はあっても後に有利也
▲十一月生―内外共に安定を欠き口舌不和あり易い婦人は悩みあり
▲十二月生―何事も進展向上あり上位長者の引立あり改革移転よし

風流世界譚 ……(フランス)……

パリの水道局に勤めているアンリーという中年男、長いこと女房に病みつかれ、生活にも疲れて焦すいし切ってしまいました。友人たちも心配していろいろ金銭的に援助してくれるのですが、さっぱりきき目がなくしおれる一方です。もちろん医者にも診てもらい、薬も飲んでいるようすですが一向によくならないアンリーをみると、友人たちは気の毒でなりません。『一体どんな症状なんだい』と聞くと『どうもはっきりしないんだよ。頭はズキズキするし、目の先を星みたいのがチラチラしたり……』というばかり。そのときちょうどそこへ居合せた電気局の男。『それは長いこと女に遠ざかっているからだ。ボクも昨年女房に寝こまれたとき、君と同じような病気になったが、女房の病気が治ったらトタン、ボクの神経衰弱もケロリと治っちまった。あれこそ名治療だよ』とあからさまにいうのをきいて、アンリー思わず『ホ、ホントですか。それで…それであなたの奥さん、いまご在宅でしょうか』

東海毒婦伝　青とかげ (111)

野沢純　土端一美画

江戸の八巷 (四)

『なに? 源十郎の居場所が知れたとえ?』

『叔母はん、とうとう、つきとめやしたぜ』

『そうかえ―』

お直はゆっくり頷いた。

江戸御府外は向島。梅柳山木母寺の境内を近くに控えた、梅若茶屋の奥の一と間に、今起き上ったばかりのお直である。

ちょろけんの与次郎が、弥勒寺橋に、しぐれの半次をたずねて、密々に謀計をめぐらした、その翌日のこと。

四ツを回った昼近く、かけ込むように訪れた、甥の与次郎を前にして、片ひざを立てたまま、

『そうかえ―』

もう一度頷き返して、朱羅字のキセルを手にすると、水戸のキザミを細白い指先に、つまんでひねって吸いつけながら、暫くじっと宙をみつめた。

近江本場の浜ちりめんを、無造作に着こなした、寝間着すがたのそうした図はまた一そうに毒婦めいて凄婉である。

―料亭伊予松の奥の土蔵で、尾張屋のお帳場番頭島蔵と、人目をさけて忍び逢い、妖しい快楽に耽っている真ッ最中、だしぬけに起った大地震で、島蔵は即死。お直は奇しくも、梁の下から助かった―あれ以来、久々に見る姿である。

落ちて来た梁で腰をしたたか打っていた。

おかげで、誰の胤とも知れない胎の児は、あのままおりてしまったが、まだ残っているのは腰の打身だ。

一つはそれを治すため、一つは御用十手の目をさけるため、江戸を離れてはるばる甲斐路。

打身や傷には効くという甲州下部(しもべ)―俗に『信玄公のかくし湯』といわれた、その鉱泉宿に、小半年も逗留して、このほどひそかに江戸へ舞い戻って来たお直であった。

古なじみの朋輩がやっている、木母寺裏の梅若茶屋へ身を寄せて早くも半年。

年増ざかりは、とうの昔に過ぎてはいるが、肌の色は相も変らず妖しいまでに若々しい。

〽三十路振袖、四十の島田―という。五十路(いそじ)名残りの色ざくら―と唄の文句にある通り、まして女の三十は、まさしく色気のとどめである。

それ故にこそ源十郎が、目の色かえて挑みかゝり、タタミの上へ押し倒し、いきなり首をしめるばかりな荒々しさで、思いを遂げたこととてもある。

髷のビンを掻き上げる、二の腕の白さも婉なら、残んの色香は胸のふくらみ、腰の線にもまだタップリと、女体の妖しさがとどめられていた。

『そうかえ―それはいいことを知らせておくれだ』

源十郎の在所が知れた―ときいて、にんまりと、うすら笑ったお直である。

『与次郎や―ちょいと仕度を手伝っておくれな。そこの箪笥から、あたしのキモノを出しておくれ。上から二番目に、あられ小紋がある。水いろの方だよ』

『叔母はん―これかね?』

『うん。それから、一番下の抽出しに、帯が入っている。どれにしようかね? その、翁(おきな)格子の昼夜帯がいい。それじゃァない、その万筋の下にある昼夜帯だよ』

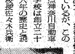
『昼夜帯と―これかえ?』

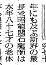
『そう〳〵』

『女って、ずい分いろんな物を、たまかに持ってるもんだなァ。これで質値にしたら、どのくれえするだろう?』

『よけいなことをお云いでない。さっさとお出し―』







燃え盛る日蓮本家争い

折伏運動けん悪化の一途

山梨県身延山に総寺をおく日蓮宗を邪宗だとして反旗をかかげ、会員の折伏(しゃくぶく)運動(入会勧誘運動)を行っている東京都新宿区信濃町三二の六創価学会＝会長戸田城聖氏(五五)＝の会員が折伏の行過ぎから去る十二日早朝、身延山久遠寺宝物殿で出火騒ぎを起し、ただでさえ勢力争いをつづけている折からそのなりゆきが悪化しつつある。一方治安当局でも創価学会の末端会員による折伏運動が会員勧誘に際し暴行事件をひん発させているとしてこれまで比較的放任されていた同会の行過ぎ折伏運動に何らかの取締り態度を決めようとの動きもみられている。【写真は身延山久遠寺本堂】



宝物殿から怪火!
いろりに投げ込んだ新聞紙
身延山 すんでのところ

去る十二日朝七時四十分ごろ身延山久遠寺宝物殿守衛室いろりばたで、創価学会の機関紙『聖教新聞』が燃えて座ぶとんに火がうつり、発見がおくれたら日蓮上人の真筆など重要文化財を納めた同宝物殿を焼失したかもしれないというきわどい出火事件がもち上った。同日朝七時二十分ごろ宝物殿責任者守衛饗場喜一さん(七三)は朝食のため守衛室入口の鉄扉を閉して食堂へ行き同四十分ごろ部屋に帰ったところ、煙が立ちこめ中央にあるいろりのそばで座ぶとんが燃えていた。饗場さんは直ちに水でこれを消しとめたが、いろりの中や付近に『聖教新聞』九部が散乱していたため饗場さんが食事に出た間にだれか新聞を投げこんだものとみて所轄の南部警察署身延巡査部長派出所に急報、南部署小松署長も出動して出火現場の鑑識写真をとる一方、出火は『聖教新聞』の投げ込みによるものと断定して投げこんだ者の捜査を始めた。

十二日は久遠寺の会式に当る日だったが早朝のため一般参詣者は一人もなく、三門付近にいた記念写真屋三名が『出火時間と同時刻ごろ十四、五名の学生を主とした創価学会員が聖教新聞を小脇に三門を入ったのを見た』と証言したほか、山内の三ヵ所に相当数の同新聞がまかれているのを発見した。

計画的な焼打ちか
当局、捜査に乗り出す

調べによるとこの朝、創価学会員約三百名が国際観光バス五台に分乗して身延町、下山、甲斐、大島、鰍沢などを訪れ、日蓮上人の会式に参詣する信者らに『聖教新聞』を配布、また身延山の支院約三十寺にも投げ込んだが、このうち十四、五名は登山して棲神閣、釈迦堂、仏殿、宝物殿などに散布、この一部が宝物殿のいろりに投げこまれ出火事件となったものらしい。このため南部署では署長以下十五名の警官が翌十三日朝まで警戒するという寺にはふさわしくないものものしさだったが、身延町でも町民が憤激、その後は消防団員の一部が警戒につき、二十二日には身延大学生ら百名によって消防団が組織されて警戒するという戦時態勢そこのけの状態となって身延山をふるえ上がらせている。

これは創価学会が日蓮正宗総本山大石寺(管長水谷日昇氏)＝静岡県富士郡上野村上条地内＝を擁立して信徒二十万をもち、身延山久遠寺(管長増田宣輪氏)の日蓮宗は邪宗であると布教につとめ、折伏による入会者は年二万名で、こんどの出火も身延攻撃の一つの事件として現われたものだが、日蓮宗では日ごろから創価学会の折伏による信徒の切崩しをおそれ、ことあるごとに創価学会と対立している折だけに、この出火事件も身延山焼うちの計画的事件として顧問弁護士海野晋吉氏に依頼、事件後の創価学会対策を練っているなど、これを導火線として両者の対立はますます悪化してきた。

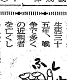
これに対して創価学会理事石田次男氏は『十二日、会の青年部が身延に到着したのが八時前だから七時四十分ごろまでに登山できるはずがない。身延で出火事件があったとしたら番人の失火だ。これをいいがかりにしたのが邪宗身延山の手段だと思う。この出火位でおびえ消防団を組織したなどお笑いにひとしい。馬鹿々々しくて話にならない』と頭から否定している。

一方警察庁では創価学会の末端会員による折伏運動がしばしば暴力行為にひとしい手段で行われているという点を重視、同会が宗教法人法の認証を得ている教団なので、これまで放任してきた態度を改め、これらの事件の実態調査を全国的に実施しているが、調査のまとまるのを待って何らかの取締り態度を決するもようである。

空海の立体戦
海上自衛隊大演習始る

海上自衛隊の三十年度大演習が二十七日朝九時から始まった。同演習は自衛艦隊の主力八十隻、飛行機二十機、隊員五千余名が参加して行われる本格的船団護衛演習で米極東海軍からも潜水艦、飛行機が特別参加、護衛艦艇と対戦警戒攻撃機を組合わせた初の空海立体戦を十一日間にわたり繰広げる。

ふし穴



ヌーボーカイ 怒忘会

◇この間『怒忘会』という妙な名の会が生れた。ヌーボー会と読むのだそうだが、趣旨は『世のため、人のため、私のためにも今日だけは怒るな。一日を愉快に』といったもの。提唱者は高橋保美老といって観光事業で海外生活三十五年、戦争で多くの近親者を亡くしかえって達観、人生の明朗化運動を起したもの。会員には『ぬーぼー』と称する、そろばん玉二十四を輪に通した会員章をくれる。二十四は二十四時間、つまり一日中の意味だそうで、怒りたくなったらこの玉を一つ一つ勘定すると、そのうち怒ることが馬鹿々々しくなる効能があるとおっしゃるもの。銀座のサンドイッチマン高橋健二クンも会員で、そろばん玉を腰にニヤリニヤリと歩いている。入会は自由、会費は年百円也。

××

昼間から箪笥を鳴らす若夫婦

◇こんな川柳が昔からあるが意味はいうまでもあるまい。ところで、ちかごろでは、あの引手金具のない箪笥が流行、ことしなどは、洋箪笥はほとんど、和箪笥までこの流行が飛火している。モダンでスマートなところが愛されたんですねと、ある家具製造所の主人にきいたところ、『はじめはそうでしたが、いまでは激動にも音がしないところが愛されてるらしいですよ、とくに新婚家庭にはね』と意外な返事。古川柳は、やがて博物館行きとなりそうだ。

××

◇神戸で行われた全日本陸上選手権の男子短距離二百米で、珍らしい双児の兄弟がしのぎをけずった。日大に入学した守山栄一クンと、弟の慎二クンの二人。慎二クンは準決勝で退いたが、栄一クンは22秒2の好タイムで二位に入賞した。この両クンとても仲よしで、顔も体つきも、走るフォームもそっくり。一緒に走っていると、どっちが早かったのか周囲の人も判断できないほどで、あわてた審判員が背番号でようやくわかったというウソみたいな話もあった。一卵性双生児は"未熟"という医学の定説を嘲笑うが如き、両クンの活躍はほおえましい。

×××

(寅)

ガス中毒ひんぴん
ゴム管くわえ 店員自殺
階下の家人六人も中毒

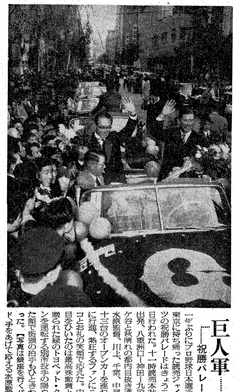
二十七日午前五時頃、台東区浅草馬道二の二二製鉛業、的場昭次郎さん(五八)方工場内中二階倉庫で同家雇人杵渕達夫さん(二二)がゴムホースを口にくわえて厭世自殺をはかった。臭気で的場さん長男研二さん(二七)同妻俊江さん(二七)雇人鈴木季夫さん(二七)同飯島貞義さん(二七)同山之内博さん(一九)同石田正治さん(二〇)らが倉庫の戸を開けて入ったが、杵渕さんは死亡、研二さんら六人はガス中毒にかかりいずれも意識を失い付近の淡路病院に収容されたが一命はとりとめる模様。杵渕さんは日ごろから哲学書に読みふけり神経衰弱気味であった。

センを閉め忘れて二人重体

二十七日午前六時十分ごろ荒川区日暮里七の二八六材木商茂木広吉さん(五七)方で広吉さんが別棟に寝ている子供たちを起しに行ったところ、長男新三郎さん(一九)三男三郎君(一六)次男保雄君(一七)の三人がガス中毒を起し苦しんでいるのを発見、近くの永野病院に収容したが新三郎さんと保雄君は重体。荒川署の調べでは前夜台所のガスのせんの締め方が悪く、もれていたのに気付かなかったものらしい。

元栓開けて自殺 未遂

二十七日朝九時半ごろ新宿区柏木二の二一〇松本アパート電々公社園田泰さん(二四)妻優子さん(二〇)は睡眠薬を飲んだ上、ガスの元センを開けて自殺をはかったが発見が早かったため生命はとりとめる模様。家庭不和から。



巨人軍
祝勝パレード

一年ぶりにプロ野球日本選手権を東京に持ち帰った読売ジャイアンツの祝勝パレードはきょう二十七日行われた。十一時読売本社前を出発、八重洲口—神田—九段—市ケ谷と秋晴れの都内目抜き通りを水原監督、川上、千葉、中尾等が十三台のオープンカーを連ね賑かに行進、熱狂するファンにニコニコとお礼の笑顔で応えた。中でも目をひいたのは最高殊勲賞として贈られた緑のトヨペット・クラウンを運転する別所投手の陽やけした顔で街頭の拍手もひときわ高かった。【写真は銀座を行くパレード、手をあげて応える水原監督(右)】

娘百数十名売飛ばす
上野葵部落が根城 人身売買団を検挙



(上)から政司 藤井、箱田 樋口、柳下

上野駅周辺を根城に、家出娘をだまし全国の特飲店に売り飛ばしていた人身売買団一味六名と、特飲店主四名が二十七日朝までに職安法違反などの疑いで上野署に検挙された。

一味はいずれも上野公園内葵部落に住む前科十一犯チビ石こと石井喜作(四二)同七犯藤井俊雄(三八)同一犯樋口政一(三九)同六犯箱田征三(四八)同三犯柳下栄子こと網島きくえ(四三)の六名と、埼玉県大宮市宝町四の四六三島家こと中原完吉(三九)葛飾区亀有五の一〇九クロネコこと秋本小梅(五二)富山県高岡市伏木玉川一〇和田楼こと和田たき、千葉県銚子市後飯町一四〇六喜美乃こと君野金治郎(五四)ら特飲店主四名らで箱田らはさる五月二十八日職探しのため上野駅周辺をうろついていた川口市旭町の山村君子さん(二五)＝仮名＝に『職がなくて気の毒だ よい所を世話してやろう』といったん部落の小屋に連れこみ、強引に肉体関係を結んだ上『いつも綺麗な着物を着て金にもなる。もし嫌だったらすぐ逃げて来てもよい』と言葉巧みに騙し、かねて知合いの前記三島家に三千円で売りこんだほか、同様手口でさる二十七年暮から都内、茨城、埼玉、千葉、大阪、富山など一味の連絡先になっている特飲店に一人千円から五千円の手数料で売り飛ばし約三百万円を稼いでいたもの。たまりかねて逃げ帰ってくる娘たちは大阪から富山、茨城から千葉へと同情したふりをして、たらいまわししていたというほど悪質なものだった。

悪質特飲店にお灸
都公安委 九軒に営業停止処分

東京都公安委員会は二十六日特飲店九業者をはじめ料亭、簡易料理店(一般のみ屋)など名義をマタ貸しして営業取消し処分をうけた悪質な風俗営業者十五名にたいし最高六十日間から最低十日間の営業停止処分を決めた。最近赤線、青線業者の女給にたいする人権無視や児童福祉法違反事例が明るみに出て世論の非難をたかめているおりからこの処分は同委員会がこの種の悪質業者にたいし司法処分のほか行政処分の面でも徹底した摘発の断を下したものとして注目される。

特飲店は浅草、洲崎、品川、新宿、武蔵新田などの九業者。なかでも台東区浅草吉原京町二の二三特飲店"大宮"こと清水せき(五四)＝営業停止二ヵ月＝は女給たちが店をやめたり、住替えするのを防ぐため強制的に家具、調度品類を月払いで購入させ、代金は前借金に繰入れていたほか、公休は月一回しか与えず、別の日に休むと一日五千円の懲罰金を給料から差引いていたという悪質ぶり。また同区新吉原角町二九特飲店"初菊"こと塩野初江(三七)＝営業停止二十五日＝は、九州から上京した十七才の家出少女二名を年令不足を承知で女給に雇入れ売春を強制していた。それぞれ二十日から二十五日の営業停止処分。



ミナト・ヨコハマ Yライン ④ オクタゴン劇場



文 北林透馬　え 森比呂志

大型姫君もメイ演技
昔は活弁の雄 洋画の まだ米軍の囲いもの

オクタゴン劇場というのは、もとのオデヲン座のことである。

といったところで、若い衆には何の感慨もあるまいが、むかしむかしの明治の末から大正の初めにかけて、ヨコハマがまだ西洋文明の日本的メッカであった頃、映画館らしい映画館は、日本ではここ一軒しかなく、ジンタではないオーケストラの伴奏で、弁士のマエセツもなく、時間どおりに映画が始って『マクベス』『お気に召すまま』『真夏の夜の夢』『リヤ王』『ロミオとジュリエット』『オセロ』などなどシェクスピア劇の数々や、サラ・ベルナールなんて歴史的世界的大女優を見せてくれた映画館で、吉井勇氏や、古川ロッパ氏などは、今でもオデヲン座といえば、ぱっと瞳を輝かす、とまあいったような、オールド・ボーイには、忘れられない思い出の小屋なのである。

そのオデヲン座が敗戦と同時にアメリカ軍に接収され、ヨコハマが第八軍の基地になったので、八軍のマークの八角印オクタゴンの名をつけて、その専用劇場になってしまった。

東宝の『アーニー・パイル』はとうに返還されたが、こっちはまだ返してくれない。

アメリカ軍のためには、本牧に『ビル・チコハン劇場』という芝居もやれる専用劇場があるのに、依然としてオクタゴンを使っている。もっともビル・チコハンのほうは将校住宅地区にあるので、家族のオカミさんや子供連が多いので、自然独りものの兵隊どもは、オクタゴンに集るのかも知れない。

独り者の兵隊が集るとなれば、例のパイラー諸君の活躍が盛んになるのも自然なわけで、劇場がハネる頃ともなれば、活動は相当おおっぴらになる。

パイラーはジャンパー姿のアンちゃんだけではない。女もいる。それも年増ばかりではない。若い女もいる。

いや、とてもパイラーになんぞまかしちゃおけない、というんで、ヒメ君みずからご出張になってくるのもある。

さすがに普段は、夜の九時半すぎないと現れないが、ペイデー(給料日)に近い月末の日曜日などともなれば、まっぴるま時には朝の九時ごろから、シャナリ、シャナリと、ハイヒールで現れて、何となく、もの欲しげな兵隊に、ジロリ、ジロリと、例のグウグウ・マイス(ながし目)を投げかける。

『カツドウ見べえかと思ったが、こりゃ娘ッ子のほうがよさそうだな』

と、ついこのグウグウ・マイスにフラフラとひっかかるオクラホマ生れやケンタッキー育ちも、たまにはあるらしいから、やめられないわけだ。

なかなか美人もいるが面白いことには、顔はとも角みんな背が高い。背が高い、というよりは、骨格のがっしりした、いわゆる大女型が多く、兵隊とならんで、あまり見おとりがしないのは、頼もしいようなもんだ。

オクタゴンの向う側の裏通り、もと飛行場跡にこれらアベック兵隊専門のホテルが沢山ならんでいるが、これが今度の国体に地方選手の宿舎が不足で、どこかの県に割りあてられたとかでモタモタ問題を起したようだが、だいたいヨコハマには、都市の性格上からも、市中にはそんなホテルしかないんだから、これは国体なんてものをヨコハマへ引張ってくるほうが、非常識というべきだろう。迷惑なのは、何も知らない兵隊どもだ。



米十社、映倫加盟に賛同
帰国の城戸松竹社長語る

ヴェニス映画祭に出席後アメリカ各映画会社を視察中だった松竹映画社長城戸四郎氏は二十七日朝羽田着の日航機で帰国、次のように語った。

ニューヨークでメージャー十社の幹部が集り映倫加盟問題が取上げられた。自分は在日米映画代表の一部が『文部省など官庁の検閲ならよいが、民間のはいやだ』との意見をはいているというので、これはかつての内務省時代に逆行するゆえんだと説いて映倫参加をうながし全員の賛同を得た。自分としては十社全部の賛意を得た以上各社が加盟すると確信している。



写真は羽田空港に到着した城戸松竹社長夫妻と令嬢(左)

独眼灯



○…ラッシュアワーの地下鉄や国電の中でこれはと思う男に女装でしなだれかかり、スリを働いていた通称美代ちゃんこと上川和男(三二)という上野のオカマがこのほど渋谷署にスリ現行未遂で捕まった。

○…この彼女? はきまったお住居がなく夜はオカマで稼ぐかたわら窃盗スリの方もいい腕前、着ているスカート、レインコートは上野で知り合ったパン嬢たちの物を無断借用、小遣いはもっぱら電車の中でといった具合で二股どころか四股の荒かせぎ……。

○…係官を前に『私は生れつきオカマとスリが病みつきなのよ、警察のダンナそんなおっかない顔をしないで許してちょうだいよ……』と流し目戦法に刑事さんタジタジの巻。



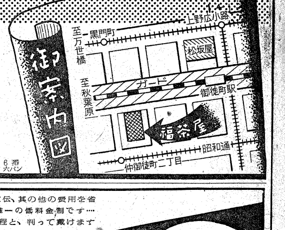
【大井】第二十一回大井競馬は二十八日から六日間、正午発馬で開催される。中央からの新参加馬はアキツシマ、ミスタジマ、カネサカエ、グローブタカヨシ、グリントツプ、タカナス、トモサンドの諸馬。ビッグレースで有力視されるものは△サラ特別＝(三日目)ハクゲキ、ニューモアナ、カントリーもしここにイチサチホマレが挑戦すればハクゲキも油断出来ない。△アラブ特別＝(三日目)ヒダカスズラン、ミネハタ、タキサクラ(松本)

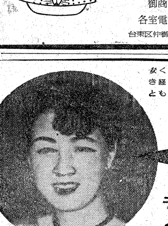
あすのスポーツ ▽プロ野球 ヤンキース対南海(大阪)▽東都大学野球 専大中、農大学習院(十一時半、神宮)▽庭球 関東学生選手権(十時、早大)▽ボクシング 拓殖対中西(六時、山口ホール)▽ゴルフ 信夫杯大学対校(我孫子)▽競馬 大井第一日

市川九団次丈(関西歌舞伎俳優本名亀崎嘉三)動脈硬化症のため京都府立病院で療養中、二十六日午後三時四十分死去、六十二才。十七才で初舞台をふみ、三十九才で三代目市川九団次を襲名。昨年九月名古屋の御園座が最後の舞台だった。(大阪発)









続 情炎の千代田城

岩崎栄 / 寺本忠雄画 (281)



春寒く(二)

それからおよそ一ときばかり――絵島の駕籠が、橋場の寮の裏門を出た。

いつしか空は、鋭い刃物のように晴れ、寒い月が中ぞらに冴えている。駕籠のあとを三間ばかり、もう一挺の駕籠が、見送るように追うように、一定の距離を保ちながら走っている。護衛役の美登利の駕籠だ。

刺すような夜気が、絵島のうつろになった心を吹きぬける。

くったくに重い頭を、ガクンと垂れて絵島は思慮の足りなかった自分の行動に、痛烈な憎悪感を向けている。

わたしは、一度ならず二度までも、またこうに大きな過失をしたのだと思う。

謹慎蟄居の荻原重秀に今夜、大久保加賀守から、密書を持って使者が来た。重秀に、割腹して死んで呉れいという全閣老からの懇談的命令だった。

新井白石と間部詮房が、将軍を動かした。もう一度、重秀を御前に呼び出し、重秀の旧悪と、去年の冬の新井邸焼打事件とを、徹底的に糾明し、直裁することになっている。明哲なることと秋霜烈日の如き新井白石が、異常な熱意をもって、民間から漁り集めた資料によると、最近の金銀改鋳による重秀の不正利得だけでも、二十六万何千両。そのほか年来の不正を悉く、明鏡にかけて照らし出した如くに洗いあげているらしい。

もしも一たん、将軍直裁の場に立ち到るとしたら、あの利刃よりもなお鋭い白石の訊問追及は、およそ想像に余るものがあろう。そして肺腑をえぐり抜くような追及は、ただ一人重秀の罪状を青天白日のもとに暴露しただけにとどまらず、大久保加賀守及び、秋元但馬守、ひいては溜閣老中一同を同罪の地獄に陥れるは必定である。

故に閣議は、気の毒ながらも重秀を召捕り、有無をいわさず断罪に処することと決定したのではあるが、多年同腹の情実と、腹心なき忠誠にかんがみ、重秀の武士道に信頼して、天下大極のための犠牲を甘受して貰いたい。

そうした密書の趣きだった。

『いよいよの最期にござります』

半六は絵島に訴えて悄然となった。

『この期に及びまして、もはや何を一言弁明の余地がございましょう』

とうつむいてしまったのが、やがて、きっと面を起し、じーっと絵島の眼を見つめて、

『ただ一つ……』

と、すり寄って来て膝に両手をのせた。

『あなた様のお力にお縋り申したく存じます。大城の大奥は、あなたさまの御自由に動きます。新井白石はともかくと致し、間部様、左京の方様――そして上様。あなたのお心一つでこれら高貴の方々は御自由になされるのでござります。お助けくださりませ。せつに、せつにお縋り申上げます』

例の、美しい眼に、澄んだ水晶のような涙をうかべて、食い入るように見上げていた。

『もし! 絵島さま、おなさけをいただき、お肌をいただき……血と血を結び合わせ、心と心を契り合うた私を、もし! 可愛いとおぼし召しはござりませぬか』

泣き伏さった。なつかしい愛着の、男の匂いを燃えたたせて、縋りついた。

『致します。あなたのために粉骨致します』

情がせまって、絵島もこれを抱きしめたのであったが、さて、駕籠に乗って寒冷な外気に頭がさめてくると、これが、とうてい不可能な事態であることを否応なく、はっきりと自覚させられたのであった。

白石の姿が敢然として、泰山のようにそびえ立っている。

邦画も天然色時代へ

正月映画に五本

日活のぞき五社はイーストマン・カラーで



新東宝『北海の叛乱』のスナップ、渡辺監督(前)と上原謙

日本の映画界にもようやく天然色時代が訪れて来たようだ。手近な例でいうなら春のゴールデン・ウィークに対応する秋のシルバー・ウィークには松竹が『絵島生島』東宝が『ジャンケン娘』大映が『珠はくだけず』と三社がカラー作品を出しており、また正月作品には従来と違って東宝、大映、新東宝、東映の四社が計五本のカラー作品を準備している。

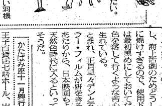
明年正月のカラー作品は [illegible] ……では"大映カラー"と称している。が『地獄門』でカンヌの色彩美術 [illegible] カラー、また英国には"ロミオとジュリエット"などで優れた効果 [illegible] 使用すべきフィルターの色が出る器具で、実景撮影を九州の五島列島付近で行い、実際の海上シーンは三浦三崎の沖で行ったこの映画のロケで、海の色、空の色、さらに顔の色などのつなぎなどに、大いに優秀な性能を発揮した。

まだメーキャップなどで不馴れ

以上のように日本の色彩映画もようやく手馴れて来はしたが、まだメーキャップの技術や使用ドーランなどでは遅れた面があり、そのため最近でも松竹の『修禅寺物語』では中村登監督が淡島千景の顔にカベのように白粉の厚塗りをやらせてしくじったという例もある。

そこで『絵島生島』では米国のマックス・ファクター東京支社の技術者を呼んで、つき切りでメーキャップに当らせたり『北海の叛乱』でも同じくファクター製のクリスタル・ホワイトのドーランを使用し、海上活劇のためどうしても陽に焼けすぎるので、使用ドーランは最初黒めにしておいてだんだん色を落して行くような苦心の策も生れている。

とまれ、正月早々デンと五本のカラー・フィルムが妍をきそう明年あたりから、日本映画もようやく天然色時代に入るといってもよさそうだ。



売行き不振『赤字羽根』と改称したい。 ―赤い羽根

お好みアンケート

八千草薫の巻



ラヴ・シーンも平ちゃら

――イタリア語はどのくらいしゃべれるの?

しゃべれるなんてものではありません。ツブヤクくらいのものです。

――でも噂では大変堪能だという話だけど……。

それはグラーチァ(有難う)ですけど本当に自信はないのですよ。

――欧州ではどこが一番よかった?

月並みたいだけどやっぱりヴェニスですかしら……。

――あなたが外国へ行って先ず買ったものは何だった?

エート、バスの切符だったかな。

――それでは東京と宝塚はどっちが好き?

両方好きですよ。いまはほとんど東京ですからやっぱり東京です。でも宝塚へ行けばタカラヅカといいますよ。

――『宮本武蔵』のお通『乱菊物語』の陽炎姫と時代劇が多いね。

そうなのです。あたしは大変近代的な女性だと思っているのですけど……。

――どういうところが近代的なの?

例えば、あなたがいまここで転んだとします。あたしはそれを見てアハハハと笑えますよ。きっと……。

――ではラヴ・シーンでも照れないでやれるね。

ことにお仕事なら平気です。でもやっぱり何となく、何となくですね。

――本当ならどう?

サアー、判りません。(全然冷たい声である)

――結婚はしない?

それも判りません。(冷たい眼でジロリ)

――では、話題をかえてお休みには何をしているの。

映画を見たり、本を読んだり、編物したり、きまっていません。

――何をしている時が楽しいの。

誰でもその時によって違うでしょ。あたしだっていろんな時がありますよ。ボカンとしていて楽しかったり、仕事が楽しかったりしますから……。

――またイタリアへ行きたいとは思わない?

思いますよ。行かせていただけるのならどこへでも行ってみたいです。

――『お蝶夫人』の全曲を原語で歌えますか?

ヘタくそでよかったらネ。

――三浦環の蝶々さんを見たことある?

聞いたことあります。とっても素敵だったのをおぼえています。

――アナタはいったいアバン的なの、それともアプレ的?

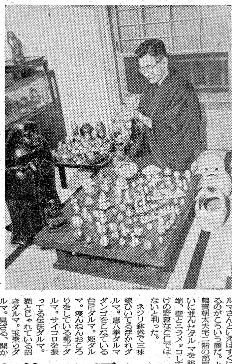
どちらでもお好きな方になりますよ。怒ると本当はこわいのですよ。プンプン。

【次回は来週木曜日、藤田佳子の巻】

私のコレクション ㉓

ダルマ

鶴賀朝太夫(新内)



芸道にも通じる

七転び八起の意思と忍耐

(お) 大師様や帝釈様へ行くと参道で"目無しダルマ"を売っている。片眼だけ白くなっていて、願いごとが叶うとそこへ目を入れて奉納する。身体が赤くてヒゲもじゃ、こわい顔して睨んでいる……。ダルマさんといえばすぐに連想するのがこういう顔だ。ところが鶴賀朝太夫宅二階の部屋いっぱいに並んだダルマを眺めた途端、壁とニラメッコしているだけの野暮なご仁ではないと判った。

ネジリ鉢巻で三味線ひいてる浮かれダルマ。唐八拳ダルマ。ダンゴをこねている台所ダルマ。姫ダルマ。寝んねんおころりをしている親子ダルマ。サイコロを振ってる伝法ダルマ。猫とじゃれている招きダルマ。玉乗りダルマ。見ざる、聞かざる、いわざる式のダルマ。あくびダルマ。更にはなんと『アァノネエ、おっさん』の高瀬実乗(往年評判の珍スター)ダルマまで、いるわ、いるわ。

(別) に、はっきりした動機はないんです。家にダルマの杯とか掛軸だとかが七つ、八つあったので縁のあるのを集めてみようと思ってね。もう二十年くらい経ちますよ。なんか、こう赤い着物をきていていいです、な。これで黒い着物だったらずいぶん陰気なんだけど……』

なんでも戦災前は等身大のやつが十二畳の部屋の周りにズラッと並んでいたのでお客が連れてきた坊やが"キャーッ"と叫んでひきつけたことがあるそうだ。

ダルマは七転び八起きで信仰と意思と忍耐の三つの強さを現わしている。だから『日本の芸道にもこれは当てはまりますね。先人のつくった作品に対する時は好きでほれてるってなものじゃなくて、クリスチャンの気持みたいな信仰とこれに達する意志、忍耐が必要ですよ。二十年間ダルマを集めているとやっぱり一つ一つに愛情がでましてね。それに私たちの芸は座ってやるものなんだから、ダルマの安定感は大切ですね』

(こ) のコレクションの面白味はなんといっても郷土人形にあるそうだ。そこで日本国中旅をするたびに、変ったのを見つけては買ってくる。だが人形ばかりかと思ったら灰皿、硯、お銚子、楊子入れ、菓子器、茶器、香ゴウ、花活け、壁掛け、木の葉の上に乗っている"自然石"の達摩大師等々部屋中がダルマだ。おまけにダルマが機械体操してるみたいな彫刻をほどこしたツゲ材の木塊を拳でもてあそびながら『こうやってにらまれてると逆の心理で自然に愛情がでてきましてね』と朝太夫はダルマそっくりの顔で楽しそうに眼を細めた。

楽しめる一級品

特に味をみせるチエミ

映画やぶにらみ

ジャンケン娘(東宝)



▽…話は至って他愛がない。二人の高校生(江利チエミ、美空ひばり)が関西旅行で舞妓(雪村いづみ)と仲好しになり、彼女の片想いの大学生(山田真二)を探しまわってやる。これに母物めいたものがちょっぴり絡まっているだけだが、楽しめる点ではどうしてなかなかの一級作品である。さすが当代の人気娘三人の初顔合せだけのことはあり、杉江敏男監督もツボを押えながらスマートな笑いをふんだんに織込んでいる。

▽…三人の中で特にチエミが傑出した味をみせている。彼女の舞台や私生活でみせるあけっ放しの快活さが実によく出ており、彼女のファンならずとも思わず唸らせられるほど生き生きとした個性的な魅力を発散する。従来ひばり、いづみに比較して映画の世界ではとかくはえない存在だったチエミも、作品の如何によってはこうも面目躍如とするものかと驚かされた。こうして一応はチエミにさらわれたかたちの作品だが、勿論彼女ら三人がそれぞれお得意の歌を舞台で歌う見せ場も添えられていせながら運ぶ洒落たシーンで、取ってつけたような不自然さがないのは演出のお手柄といえよう。(静)

【写真はその一場面、後からひばり、チエミ、いづみ】

都々逸名選

小沢扇太郎選

弱いあたしにひと晩だって 家をあけないいい亭主 渋谷・小山昭元

奥さんを貰ってしまってあきらめましょう 燃せば炎になる手紙 港・蓼胡伊吉

誓いますわとにっこり笑う 可愛いあいつを思い出す 神田・鈴木長春

別れに淋しく笑って見せた 顔がいつまで目に残る 浅草・岩崎節子

雨の日曜所在もなくて ごろり昼寝のひとりぼち 向島・君福

◇

恋の醍醐味せわしい中を 時計見い見い一寸逢う 選者

かたばみ座十一月興行 一日初日 王子百貨店七階ホール、出し物は『歌時雨』三場『関取千両幟』

催し 三越素人"名人"会 二十九日正午から三越ホールにて、登場する"名人"の顔ぶれは、木村初枝さん(荘八画伯夫人)の小唄、鷹木高次郎氏(湯本町長)の哥沢、緒方知三郎氏(東大名誉教授)の奇術、茂木佐平治氏(野田醤油取締役)夫妻の舞囃子ほか。

はと笛

▽…俳優座・山本プロ製作、松竹配給の芸術祭参加作『浮草日記』(演出山本薩夫)はいま上石原の独立映画撮影所で最後の仕上げにかかっているが、この映画に出て来る市川馬五郎一座(東野英治郎、菅原謙二、津島恵子ほか)の女形をやるのが新派から客演の上田茂太郎といい、花柳章太郎の弟子。

▽…ところでこれには俳優座やスタジオ劇団から、仲代達矢だの高橋昌也だのと何人かのリュウとした二枚目青年たちが出演している。そこでソワソワと落ち着かないのが茂太郎先生。初めは高橋を追いかけ回していたが、このごろでは仲代に向って『ねえ、あんたいい男だわ』といった調子なので、このところ二枚目たち、馴れない女形攻勢には戦々キョウキョウ。



【写真は上田茂太郎】

今晩のラジオ 27日(木)

★NHK第1★ 590KC

- 6 00 子供のシンブン◇マルコポーロの冒険 早川忠他 / 25 オテナの塔 須永宏他
- 7 00 ニュース◇天気予報 / 30 浪花演芸会 ミスワカサ島ひろし 砂川捨丸他
- 8 00 歌の花ごよみ 笠置シズ子 織井茂子 吉岡妙子 / 30. 由起子 津島恵子 木村功 語り手奥田康子
- 9 00 ニュース解説 熊谷幸博 / 15 のんきタクシー 内海突破 並木一路他 / 40 時の動き 新党結成
- 10 15 邦楽名曲選、新内『傾城三度笠』富士松佐賀吉 / 40 浪花節の聞き方味い方
- 11 10 海外の話題 / 10 菊と怪談 笹沢美明作

★NHK第2★ 690KC

- 05 英語会話 松本亨 / 30 受信機講座 高草木要作 / 40 やさしい科学 竹内均他
- 00 名曲鑑賞 フォーレ歌曲集 独唱スーゼー他 / 30 友への手紙 木村健康
- 00 ニュース / 05 教養特集 経済閣僚懇談会 有沢広巳 東畑精一 中山伊知郎他
- 00 ラジオ劇場『プールサイド小景』庄野潤三作 久保保夫 南美江他 / 30 放送詩集 現代詩鑑賞
- 00 高等学校講座❶英語 小野嘉寿男❷国語増渕恒吉 / 45 気象通報
- 05 経済ニュース問答 / 20 最近の結核予防 隈森逸造

★ラジオ東京★ 950KC

- 10 東西こぼれ話 高野アナ / 15 コンサート 南十字星 / 25 おしゃれクイズ
- 10 録音ニュース / 20 平岡養一の木琴独奏 / 30 レストラン 江利チエミ
- 00 劇『東京の青い鳥』森繁久弥 中村メイコ他 / 30 のんき裁判 榎本健一 丹阿弥谷津子 荒木道子
- 10 歌謡漫談 川田晴久とダイナ・ブラザース / 30 劇『ただひとりの人』新珠三千代 花柳武始他
- 05 今日のニュース(朝日) / 15 坂本政一とポルテニア / 30 『山の子の運動会』
- 10 芸術百話『映画音楽について』掛下慶吉他

★日本文化★ 1130KC

- 00 劇『少年宮本武蔵』 / 10 劇『平将門』高橋昌也 / 25 LPヒット・パレード
- 00 録音ニュース / 10 スタッフォードの歌 / 30 私は人気者 灰田勝彦他
- 00 浪曲学校 玉川勝太郎 三笑亭夢楽 大正みどり / 30 私と貴方の三つの歌 小唄勝太郎 益田キートン
- 00 ジャズゲーム 司会ジェームス ゲスト松本文男 / 30 青春ワンダフルばあちゃん 東五九童 松葉蝶子
- 00 大学受験実力養成講座 英文和訳 岩田一男 / 30 解析(I) 戸田清
- 10 劇『きのうの女』楠田薫 小山田宗徳 岸旗江他

★ニッポン★ 1310KC

- 00 ポッポちゃん物語 / 15 劇『シンバの冒険』 / 30 歌中島孝 照菊他
- 00 ラジオ夕刊(耳の新聞) / 20 歌の祭典 近江俊郎 池真理子 高英男他
- 00 志ん生を聞く『人情噺・文七元結上』志ん生 / 30 愛読者ゲーム 有島一郎 岡田茉莉子他
- 00 声のスターコンテスト 真弓田一夫 水城蘭子他 / 30 歌うエアー・ライン 楠トシエ フランキー堺他
- 00 劇『南無三宝』小沢栄 / 15 歌若原一郎 榎本美佐江 / 35 民謡めぐり『九州地方』
- 00 スポーツ・カレンダー / 15 夢のリズム 詩と音楽

テレビ

★NHK★ ◆6・00 人形劇『アシン』◆6・30『聖林のプロフイル』◆7・10 映画『ひろがる教室』◆7・30 浪花演芸会◆8・00 私の秘密 渡辺紳一郎他◆8・30 歌の花束 近江俊郎

★NTV★ ◆6・00『日吉丸』◆6・15 スポーツ特集◆6・30 劇『この結婚に異議あり』◆7・30 テレビ千一夜◆8・00 舞踊五条流おさらい会◆8・15 映画『極楽夫婦』榎本健一他

★KR★ ◆6・00 ジャズ◆6・15 シネマ案内◆6・35 サザエさん◆7・00 映画『一人の母の記録』◆8・00 浮世マンガ鏡◆8・30 ペギー葉山ショウ◆9・00 毎日TVニュース



